

確定申告が本番を迎え、各班・支部で申告に向けた集まりがスタートしました。準備を早めに行い、集まりにぜひ参加しましょう。

消費税は廃止をめざし、緊急に5%への減税を

消費税廃止 新潟県各界連 消費税学習決起集会

2月2日(日)、新潟市にて消費税廃止新潟県各界連絡会主催の「消費税学習決起集会」が開催され、「経済のスペシャリスト」日本共産党の大門みきし参院議員を迎え、「消費税は廃止をめざし、緊急に5%への減税を」と題した講演会が行われました。県内各地から100人が集まり、会場は満席となりました。消費税をなくす長岡各界連からは松澤政晴長岡民商会長、金内事務局長らが参加しました。

会の冒頭、渡部睦夫新潟連会長が「学習」、消費税を5%に引き下げる世論をいっぺり上げよう」と挨拶しました。

大門議員は鋭さとユーモアを織り交ぜながら国会情勢や消費税について解説、会場は終始笑いに包まれました。大門議員は「政府は経団連に『3度の増税延期はダメだ』と言われ、景気が悪くなるかわかっていながら、改憲のために増税を強行した」「消費税は社会保障のためでも財政再建のためでもなく、大企業減税のために導入された。こんな税金は、この先いくら増税しても、どこに消えるかわからない。だから、廃止すべきだ」「安倍政権に対する怒りの総和で政治を変えよう」と訴えました。



「消費税は下げられる」と話す大門議員

地域各界連などからの活動報告も行われ、長岡各界連からは金内事務局長が発言に立ちました。金内事務局長は、昨年3月の「増税中止を求める長岡市議会への請願、市議全員へのアンケート」の月と9月に行った「10月消費税10%ストップー長岡ネットワーク集会」そして現在も継続しているアオーレ長岡前での「毎月24日の署名・宣伝行動」など、活動再開から現在までの運動を報告しました。

松澤会長は「非常に有意義だった。学んだことを今後一生かかしたい」と話しました。

関原支部で4班合同の班会税・インボイスに怒りと不安の声

関原支部は1月28日(水夜、原支部長(塗装)宅にて館・関原1丁目・関原3丁目・密本の4班による合同学習班会を開きました。

関原支部ではこれまで、確定申告に向けて、各班でも可能な限り2回の班会を行ってきました。初回の班会では「自主計算パンフレット」を用いて所得税や消費税などに關して学習し、2回目の班会で具体的な申告相談を行ってきました。会員減少のため、単独での班会開催が難しくなっている班もあり、今回は合同班会となりました。

この日も、まずは自主計算パンフレット13ページ「不公平な税制を正す世論と運動」の読み合わせを行いました。事業所得の40%を超える税(所得税、消費税、国保料、国民年金保険料)が課せられている例「税金が高すぎる」「これでは暮らしていけない」と怒りの声が上がります。安倍政権下で6年連続過去最高を更新している軍事費については「税金を軍事費に使わないでほしい」「その分税金を下げしてほしい」などの意見が出されました。



全商連制作のDVDを用いた学習では、インボイス制度が導入されると免税業者が課税業者にならざるを得ない(課税業者にならなければ取引から排除される)ことに対し、「今更だ苦しいのに、その上消費税を納めなければならぬのか」など、不安の声が多く上がりました。

班会が終了してもインボイスに関する話が続き、非常に有意義な会でした。

